

## 名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組の概要について

これまで、本市では、教育の内容、方法等に関する調査研究を行う名寄市教育研究所の中に指導改善検討委員会等の組織をつくり、その都度、喫緊の教育課題に対応してきました。

しかし、学力の向上をはじめ体力の向上など教育課題が山積していることから、従来の教育研究所の取組のほかに、総合的に学校教育を見直し、効率良く諸課題の解決を図る必要がありました。そこで、各学校の特色を生かしつつ効果的な取組を共有し、全小中学校で成果を上げることをねらいとして平成24年度に名寄市教育研究所内に名寄市教育改善プロジェクト委員会（以下「プロジェクト委員会」という）を設置しました。

プロジェクト委員会の委員は、市内の全小学校10校と全中学校4校の校長と教頭及び各学校から選出された30数名の教諭です。委員は、「学習指導の工夫改善」「教育資源等の活用」「校内研修（研究）の充実」の三つの研究グループに分かれ、平成24年度から26年度は「確かな学力の育成」を中心に、平成26年度からは「豊かな心、健やかな体の育成」も取り上げて、全小中学校の教育活動等の改善充実を図る取組を進めています。

また、平成24年度からは、道教委の「学校力向上に関する総合実践事業」の地域指定や、平成26年度からは、道教委の「ほっかいどう学力向上推進事業」の指定を受けたことから、プロジェクト委員会では、これらの事業の学習規律・生活規律の統一及び徹底や全国学力・学習状況調査の当日採点及び指導の改善への反映等の取組と連動させて、全小中学校の学校力を高め、児童生徒に「生きる力」を育む取組を進めています。

さらに、平成26年度は、文部科学省の「自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究」の指定を受け、学校力向上に関する総合実践事業の人材育成の取組と連動させながら、プロジェクト委員会の管理職の指導により、ミドルリーダーのマネジメント力の一層の向上を図る取組を進めています。

プロジェクト委員会としては、これまでの3カ年の取組を踏まえ、今後の課題を明確化し、研究体制、研究計画等の改善を図りながら、市内の全小中学校が一体となって児童生徒に「生きる力」を育む効果的な取組をさらに進めてまいります。